

公益財団法人十四世六平太記念財団 平成30年度普及事業  
武蔵野大学文学部 日本文学研究所 第40回土岐善麿記念公開講座特別公演

# 能と土岐善麿

## 青夜女を観る

しょうえの  
によにん  
ときぜんまろ

平成31年 1月31日(木) 14:00開演 (開場13:00)

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

全席自由 ¥2,000-

Photo: 喜多実 撮影: 増田正造(武蔵野大学名誉教授)



主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団 共催: 武蔵野大学文学部 協力: 武蔵野大学同窓会むらさき会  
助成: 文化庁文化芸術振興補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



# 能と土岐善麿「青衣女人」を観る

歌人・国文学者、土岐善麿(1885-1980)は、武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)文学部の初代主任教授として教壇に立つほか、能楽資料センターの設立に顧問として尽力しました。一方では喜多流の能を学びながら、十五世宗家喜多実との協働によって多くの能を作った新作能のパイオニアでもあります。武蔵野大学文学部との共催によってこれまで「実朝」、「鶴」、「夢殿」を上演してきましたが、シリーズ第4回目となる今回も土岐善麿の新作能レパートリーから要望の高かった「青衣女人」を上演いたします。講演や解説も合わせて、喜多流と武蔵野大学を結び付けた土岐善麿の業績をあらためてふりかえります。



## プログラム

### 【第1部】14:00

- ◎ ご挨拶  
落合貴代子(武蔵野大学同窓会むらさき会会長)
- ◎ 講演「東大寺と盧舎那仏」  
三田誠広(武蔵野大学文学部長、日本文学研究所長)
- ◎ 講演「歌人、土岐善麿の1940年代—“青衣女人”初演・再演のころ」  
河路由佳(元東京外国語大学教授、歌人)

### 【第2部】15:30(予定)

- ◎ 本日の演目の解説  
三浦裕子(武蔵野大学文学部教授、能楽資料センター長)
- ◎ 能「青衣女人」  
— あらすじ —

承元の頃、修二会参拝の僧が過去帳(東大寺上院修中過去帳)を読んでいた。すると目の前に青い衣を着た女が現れ「なぜ私の名を読み落とすのか」と言う。それを聞き、僧はその女の着ていた衣から「青衣女人」と読み上げた。すると女は御堂の彼方へと消え失せた…。

シテ(前・女、後・青衣女人)	佐々木多門
ワキ(僧)	舘田善博
アイ	山本東次郎
笛	藤田貴寛
小鼓	森澤勇司
大鼓	柿原光博
太鼓	大川典良
地謡	長島 茂、狩野了一、友枝雄人 金子敬一郎、大島輝久、友枝真也 塩津圭介、佐藤寛泰
後見	塩津哲生、内田成信

(17:15頃終演予定)

## 日時

平成31年1月31日(木) 14:00開演(13:00開場)

※公演当日能楽堂ロビーにて、土岐善麿関連の資料(新作能等)の展示があります。

## チケット

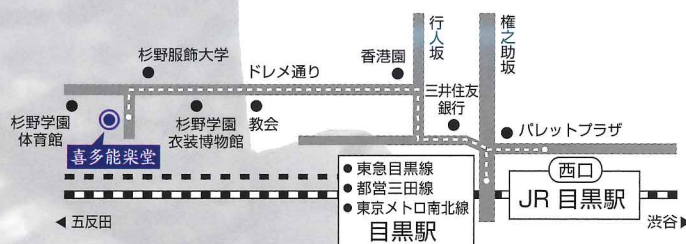
全席自由 ¥2,000-

## お申込み/お問合せ

- ◎ 喜多能楽堂  
TEL 03-3491-8813(10:00~18:00)  
ホームページ <http://kita-noh.com/>(要事前登録・無料)  
※ご予約のチケットをコンビニでお受け取りの場合は別途発券手数料がかかります。

## 会場

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。  
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。  
〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

